

令和3年度

立江小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着とそれを活用する力の育成
- 自他の意見を尊重し、主体的に学習に向かうことができる授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
古田玲子(教諭)	校長:前田和成 教務主任:濱田江利子 教頭:瀬野俊恵 研修主任:森本千寿子

校長

前田 和成



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基本的な計算や漢字の読み書きについては、ある程度の定着が見られる。 ●人の話をしっかりと「聞く」ことができていない児童がいる。	・単元テストで80%以上の平均正答率を達成できる。 ・相手を見て、最後まで話をしっかりと「聞く」ことができる。	・実物やICTを活用することにより視覚的支援を促し、課題把握や解決に向けてイメージをもちやすくさせる。 ・朝会やスピーチの内容を振り返ることにより聞く意識を高めさせる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを表現できる児童が増えてきた。 ●文章の読解力や知識・技能の活用力に課題がある。	・様々な場面で、自分の思いや考えを「書く」ことができる。 ・本や新聞に興味をもち、親しむことで、読解力や表現力を身につける。	・メモ・付箋・ボードなどを使い、思いついたことを、気軽に書き留めることができるようにさせる。 ・新聞を活用したクイズや漢字探し・記事比べなどを行い、記事を読む習慣を身につけさせていく。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の課題・興味に即した自主勉強をすることができている。 ●教師の指示を待つ傾向があり、主体的に学習に取り組めていないことが多い。	・学習を振り返ることで、「できた」「分かった」を実感し、自己肯定感を高める。 ・生活経験や既習の学習を生かし、意欲的に課題に取り組むことができる。	・毎時間の振り返りと単元終わりの振り返り方を区別したり、振り返る観点を示したりする。 ・一人一人の「考える」時間をしっかり確保できるように、答えが出せている子に対しては、別の方法で考えさせたり、別の課題の準備をしたりしておく。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

